

「撮影の拠点」ワープステーション江戸の利用状況

現在、県および市では、ワープステーション江戸周辺地域への企業誘致やそのための整備手法など、この地域の振興施策の検討を進めています。

11月広報ではメディアパークシティ整備構想のこれまでと今後についてお知らせしました。今回は、この整備構想によって整備された「ワープステーション江戸」の利用状況等についてお知らせします。

ワープステーション江戸のいま



撮影の様子

メディアパークシティ整備構想の第1期事業として、伝統文化と先鋭技術が融合し、遊んで学べる歴史公園的機能やマルチメディアを親しみ実際に体験することのできる「学・遊・憩」の要素を兼ね備えた多機能型の施設として、茨城県、市および民間企業が出資した第三セクター「㈱メディアパークつくば」が整備を行いました。

しかし、「㈱メディアパークつくば」の経営破たんにより、平成14年10月から茨城県開発公社へ経営が移り、現在、撮影に特化した施設として、一般公開を行いながら、映画、テレビドラマやコマーシャル撮影などに利用されています。

茨城県内でのロケ地BEST5

(いばらきフィルムコミッションより)

茨城県内では300カ所以上で映画などの撮影が行われてきました。その中で、ワープステーション江戸が回数(作品数)で県内ロケ地の1位となっております。

- 1位 ワープステーション江戸(つくばみらい市)
- 2位 茨城県庁三の丸庁舎(水戸市)
- 3位 坂野家住宅(常総市)
- 4位 つくば国際会議場(つくば市)
- 5位 旧上岡小学校(大子町)

ワープステーション江戸の効果

平成12年のワープステーション江戸オープン以来、市内では、さまざまな時代劇・現代劇・映画・CMなどの撮影が行われています。

その撮影効果は、時代劇・現

ワープステーション江戸での撮影状況

年 度	作品数	撮影日数	主な撮影作品名
平成12年度	8作品	17日	NHK大河ドラマ 葵～徳川三代 他
平成13年度	10作品	52日	NHK金曜時代劇 逃亡 他
平成14年度	16作品	74日	NHK大河ドラマ 武蔵 他
平成15年度	25作品	80日	NHK大河ドラマ 新撰組 他
平成16年度	31作品	95日	映画 忍 SHINOBI 他
平成17年度	8作品	136日	映画 あかね空 他
平成18年度	8作品	103日	NHK大河ドラマ 風林火山 他
平成19年度	8作品	134日	NHK大河ドラマ 篤姫 他
合 計	114作品	691日	

資料：茨城県、茨城県開発公社

代劇・映画などであれば、撮影協力という形で市の名前などが、字幕で紹介され、市のPR効果や集客力の強化につながっています。

現在、市内で行われる映画などの撮影にエキストラとしての出演や、撮影のお手伝いをする『つくばみらい市エキストラの会』が組織されていますが、ワープステーション江戸は、エキストラの会の会員同士の交流やイベントの参加など、市民交流の場としても利用されています。